

# 登録有形文化財・旧桂ヶ谷貯水池堰堤 見学会

～小郡に残る近代化遺産を見に行こう！～

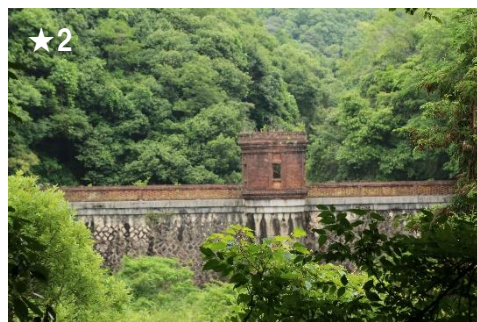
日時:令和元年 10月 26日(土) 10:00～16:00

場所:新町西公民館 (山口市小郡新町西2丁目19-25)

主催:おごおり地域づくり協議会 ほか



資料作成:山口近代建築研究会



- 「やまぐち近代建築探偵」第 54 回「近代小郡支えた赤煉瓦」／浅川均氏執筆
- ・鉄道敷設計画に伴う小郡町の人口増対策として、良質な水を安定的に供給するための上水道施設が当時の大きな課題であった。
- ・1920 年上水道期成同盟会が設立(古林新治、秋元春三ら)
- ・大分県別府町の水道技師石崎貞次郎の設計・指導により大正 12 年に完成。石崎は、別府に乙原貯水池堰堤(1916 年/現乙原ダム/日本の近代土木遺産～現存する重要な土木構造物 2000 選に選定)を設計しているが、それと構造、意匠は良く似ている。
- ・この上流には、小郡への機関庫移転に伴い、水需要の増加に伴う羽根越堰堤が、昭和 3 年宇部市小野に建設された。こちらは、コンクリート造。(現在はかなり改修されており、こちらは登録文化財ではない。)

- 国指定文化財等データベース(HP)より
- 山口県山口市小郡上郷 2915/1923(大正 12 年)/2015 年一部改修/登録有形文化財(建造物)/2016.08.01(平成 28.08.01)登録/重力式コンクリート造堰堤、堤長 24m、堤高 13m/1 基
- 榎野川水系四十八瀬川右支桂ヶ谷川に築かれた旧水道堰堤。堤長二四メートル、堤高一三メートル規模、表面石積の重力式コンクリート造堰堤。緩やかなアーチ平面と、煉瓦積で丁寧に築いた取水塔及び高欄が特徴的。中国地方につくられた初期の水道堰堤の一つ。

旧桂ヶ谷貯水池堰堤は 2023 年に 100 周年を迎えます！